

令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 島原地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】 月～金 午前9時から午後5時まで 休業時間・休業日の緊急時には担当者に連絡できる体制をとっている。 【事業実施地域】 下京区 郁文学区、淳風学区、光徳学区、七条第三学区
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

①地域包括の役割・介護予防サービスについて周知活動を継続して実施している。 ②コロナ禍において感染状況を確認しながら、地域ケア会議を開催し、共にネットワーク内で困難ケースを乗り切っていく関係構築が維持できるように努力した。 ③郁文・淳風・光徳・七条第三学区の地域福祉員との連携や、要援護高齢者の実態把握に努めている。 ④七条第三学区では「発見！まち歩き」を開催、福祉、防災の視点でまち歩きを行い共有した。郁文学区では、介護保険事業所や下京区社会福祉協議会とで「郁文まちづくり会議」を開催し始めた。
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

【職員体制】 センター長1名（主任介護支援専門員と兼務） 保健師1名 社会福祉士3名 介護支援専門員1名 合計6名
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

第三者への委託は行っていない。

5 施設の利用状況（施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

3,036 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

1,185 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

委託料	26,507,300
介護保険収入	15,401,982
その他	137,030
収入計	42,046,312

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	30,631,841
事業費	625,239
委託費	4,141,625
小額修繕費	18,029
その他	120,635
支出計	35,537,369

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

健康教室楽楽広場は、年6回を企画していたが5月7月11月の3回開催。開催終了後に参加者全員の満足度アンケートを実施しニーズの把握を行っている。

(2) 利用者満足度把握の結果

健康教室楽楽広場でアンケート実施。リフレッシュ度は100点満点が多い。その他の感想では、楽楽広場の定期開催を望む声と、もう少し時間を長くしてほしい（コロナ前のように）という内容があった。
外出自粛をされていた方にとっては、顔なじみの方と再会ができたことを喜ばれていた。また、全体的に体力等の低下がみられ、介護予防の取り組みは必要と実感されている。楽しく過ごしている。

(3) 意見等への主な対応状況

令和5年度からは、健康教室の開催方法や開催時間などもコロナ前の状況にこだわらず良い方法を検討しながら開催する。またゲスト講師も招いて内容も充実させる。

7 評価（指定管理者自己評価）

健康教室島原楽楽広場は、どなたでも参加できるをもっとうに開催しています。この3年程の間に体力の低下やご病気等で参加者の顔ぶれが変化しました。七条第三小学校で認知症サポーター講座を実施、令和5年度では、認知症カフェも再開させ認知症の方もそうでない方も老若男女その他でも参加いただけるよう配慮していく等、障害を理由とする差別解消に向けた取り組みも続ける。七三学区の地域ケア会議では感染対策をとりながらできる事として、福祉や防災の視点でまち歩きを開催した。その経験を生かして、郁文学区でも郁文まちづくり会議を立ち上げて、地域課題におけるとりにくみについて地域の福祉関係の事業所等とともに検討出来るようになってきた。